

令和2年度 名古屋市立大学における動物実験に関する情報

1.動物種及び動物数(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

動物種	期間当初の匹数	導入匹数(*1)	使用匹数(*2)	期間末の匹数
マウス	12,229	28,086	26,155	14,160
ラット	961	2,293	2,670	584
ウサギ	0	12	9	3
モルモット	5	52	35	22
ハムスター	0	48	48	0
マーモセット	25	8	6	27
トカゲ類	2	0	0	2
カメ類	1	0	0	1

*1 購入や出生等により増加した匹数

*2 処分数や譲渡数等の合計

<参考>

動物種	期間当初の匹数	導入匹数(*1)	使用匹数(*2)	期間末の匹数
カエル	33	42	45	30

2.飼養保管施設数

飼養保管施設数(*3)

16

*3 令和3年3月31日現在

3.主要飼養保管施設名称

実験動物研究教育センター

実験動物飼育施設

4.令和2年度承認件数

承認件数(*4)

243

*4 複数年承認もあることから、件数は令和2年度を承認期間に含む計画の合計。

5.令和2年度教育訓練実績

講習会名	受講者数(人)	実施日時
医学研究科動物実験規程講習会(第86回)	15	4月16日(木)
薬学研究科動物実験規程講習会(継続)	220	4月21日(火) ~7月22日(水)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	37	4月24日(金)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	7	4月30日(木)
医学研究科動物実験規程講習会(基礎自主研修)	103	7月9日(木)
医学研究科動物実験規程講習会(第87回)	15	7月9日(木)
薬学研究科動物実験規程講習会(新規)	2	9月4日(金)
医学研究科動物実験規程講習会(第88回)	8	9月10日(木)
医学研究科動物実験規程講習会(第89回)	8	12月9日(水)
理学研究科動物実験規程講習会	-	希望者なし
	合計	415

6.教育訓練実施内容の概略

講習会名	実施内容概略
<p>医学研究科動物実験規程講習会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令, 指針等, 本学の定める規程等 ・動物実験等の方法に関する基本的事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・安全確保及び安全管理に関する事項 ・人獣共通感染症に関する事項 ・その他
<p>医学研究科動物実験規程講習会 (基礎自主研修)</p>	<p>・計画書等の作成を行なわないことから、内容は上記の簡易版</p>
<p>薬学研究科動物実験規程講習会 (新規)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、指針など、本学の定める規程 ・動物実験などの方法に関する基本的事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・安全確保および安全管理に関する事項 ・人獣共通感染症に関する事項 ・動物舎の利用方法と注意事項 ・動物舎管理スタッフの紹介(KAC職員)
<p>薬学研究科動物実験規程講習会 (継続)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安楽死の意義と方法 ・実験動物の福祉・愛護と3Rの原則 ・微生物感染症対策について ・動物舎の利用について注意事項の再確認 ・動物舎管理スタッフの紹介(KAC職員)
<p>理学研究科 動物実験規程講習会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令、指針など、本学の定める規程 ・動物実験などの方法に関する基本的事項 ・実験動物の飼養保管に関する基本事項 ・本学の動物実験施設及び計画の現状について

7.動物実験委員会の構成(3区分)

令和2年4月1日現在

役割(*5)	所属	専門分野
①	薬学研究科	イオンチャネル分子薬理学/循環器薬理学/平滑筋薬理学
②	医学研究科	実験動物学/病態医化学
②	医学研究科	機能組織学
①	薬学研究科	神経科学/神経再生/小児科学
①	理学研究科	分子生理学/運動分子生物学
③	経済学研究科	日本経済史/環境経済史
③	人間文化研究科	日本民俗学/沖縄学/折口学
③	芸術工学研究科	建築計画学/医療福祉施設設計/ユニバーサルデザイン/安全設計
③	看護学研究科	生理学
③	事務局	

※役割とは、文部科学省の指針に示された以下のことを示す

- ①動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ②実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③その他学識経験を有する者